

新規事業採択時評価結果(令和6年度新規事業化箇所)

担当課:道路局 国道・技術課
担当課長名:高松 諭

事業の概要

事業名	一般国道56号(四国横断自動車道) 宿毛内海道路(宿毛和田～宿毛新港)	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自:高知県宿毛市和田 至:高知県宿毛市榑	延長	7.1km		
事業概要	宿毛内海道路(宿毛和田～宿毛新港)は、四国横断自動車道の一部を構成する道路で、高知県宿毛市和田から高知県宿毛市榑に至る延長7.1kmの自動車専用道路である(四国横断自動車道は徳島県阿南市から高知県四万十市に至る阿南四万十線と愛媛県南宇和郡愛南町から愛媛県大州市に至る愛南大洲線で構成される高規格道路)。				
事業の目的、必要性	当該区間の整備により、南海トラフ地震発生時に住民の避難や緊急物資の輸送を支える「命の道」として機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成するとともに、都市部や空港、高次救急医療機関等へのアクセス向上により、四国西南地域における観光振興や地域産業、緊急搬送などの医療活動を支援するものである。				
全体事業費	約510億円	計画交通量	約2,900台/日		
事業概要図					

事業評価結果

費用 便益 分析	B/C	EIRR	総費用	34,641億円	総便益	67,364億円	基準年
	1.9(0.1)	8.2%	事業費:	29,743億円	走行時間短縮便益:	58,830億円	令和5年
	(参考)	(-4.0%)	維持管理費:	4,498億円	走行経費減少便益:	6,906億円	
			更新費:	400億円	交通事故減少便益:	1,628億円	
感度分析			交通量変動	B/C=1.7~2.2 (変動ケース:±10%)			
	2.3(0.2) [2%]		事業費変動	B/C=1.9~2.0 (変動ケース:±10%)			
	2.6(0.2) [1%]		事業期間変動	B/C=1.9~1.9 (変動ケース:±20%)			
事業の 影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠			
		渋滞対策	-	注目すべき影響はない。			
		事故対策	-	注目すべき影響はない。			
	歩行空間	-	注目すべき影響はない。				
	社会全体への影響	住民生活	◎	【速達性・アクセス性の向上により医療活動を支援】 ・愛南町から高次救急医療機関までの搬送時間が短縮され、地域で生活が営める環境を維持。 [愛南町役場から幡多けんみん病院までの搬送時間が短縮] 現況:40分 ⇒ 整備後:29分(約11分短縮) [愛南町の高次救急医療圏域の30分圏域人口カバー率が増加] 現況:約1,100人 ⇒ 整備後:約6,400人(約5,300人増) [国道56号(宿毛市和田～宿毛市宿毛)のR<150mのカーブ区間減少] 現況:1箇所(国道56号) ⇒ 整備後:0箇所(宿毛内海道路)			
		地域経済	◎	【観光振興や産業振興に寄与】 ・移動時間短縮が図られ、都市部との広域ネットワークの拡大により、円滑な物流網の構築や、高知県幡多地域の魅力を向上。 [高知龍馬空港から宿毛市までの所要時間が短縮] 現況:158分 ⇒ 整備後:126分(約32分短縮)			
災害		◎	【信頼性の高いネットワークの確保・災害に強いまちづくりを支援】 ・浸水しない信頼性の高いネットワークの構築により、持続可能な地域生活圏を維持。 [宿毛市和田～宿毛市宿毛間を移動する経路における津波浸水予測区間の延長] 現況:2.6km(国道56号経由) ⇒ 整備後:0km(宿毛内海道路経由) ・長期浸水で孤立する要救助者の救出および長期浸水解消に向けた排水作業のアクセス確保に寄与。				
環境	-	注目すべき影響はない。					
地域社会	◎	・高台移転した宿毛市役所と連携し、宿毛新港IC周辺の防災拠点を中心とする防災まちづくりに寄与。					
事業実施環境	○	・計画段階評価手続き完了(H31.2.28) 都市計画決定手続き完了(R3.12.10) ・高知県知事や沿線自治体首長より早期事業化を要望					

採択の理由

費用便益が一体評価で1.9と便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
 また、宿毛内海道路(宿毛和田～宿毛新港)の整備により防災機能の強化・災害に強いまちづくりを支援し、観光振興や産業振興支援、安全・安心な医療アクセスの確保など事業の必要性・効果は高いと判断できる。
 以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したものの。
 ※B/Cの上段はいよ小松JCT～高知JCTを対象とした場合、下段()書きの値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果。
 ※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([]内は社会的割引率の値)

関係する地方公共団体等の意見

【高知県知事】
 一般国道56号 四国横断自動車道 宿毛内海道路(宿毛和田～宿毛新港)事業の予算化に同意します。
 四国地方の高速道路網の骨格を成す「四国8の字ネットワーク」の一部を構成する四国横断自動車道と阿南安芸自動車道は、平常時には、本県西部及び東部地域の経済活性化を支える重要な社会資本として、災害時には、円滑な救援活動等を確保する「命の道」として重要な役割を担うことから、県民一同、早期完成を待ち望んでいます。今回の能登半島地震で、土砂崩れ等に伴う道路の寸断により、救助活動や物流輸送に多大な影響を及ぼしたことは、南海トラフ地震においても共通する課題であり、「緊急輸送道路」の根幹を成す四国8の字ネットワークの整備を急ぐ必要があります。この区間が事業化され整備が進めば、南海トラフ地震等の大規模災害発生時における「命の道」として、また、四国内や関西圏などとの連携強化が図られ、商圏や交流人口がさらに拡大し、本県のみならず、四国全体の経済活性化に大きく寄与するものと期待しております。本県といたしましては、本年度より新設した高規格道路用地室による用地買収への協力や埋蔵文化財発掘調査の早期完了、高規格道路全般の調整に関わる専属職員の配置、建設発生土の有効利用に係る調整など、事業が円滑に推進できる環境を早期に整えられるよう、沿線自治体や関係機関とも連携し最大限努力するとともに、スピード感を持って取り組んでまいります。宿毛内海道路(宿毛和田～宿毛新港)につきましては、本線の事業進捗に合わせ、宿毛新港IC(仮称)へのアクセス道路の整備にしっかりと取り組むとともに、宿毛市が進めている防災拠点の整備など、関連する事業を促進してまいります。今後も、高規格道路の事業化を見据えた地域の防災や産業・観光振興の取り組みを後押しし、地域防災力の向上や地域経済の活性化につなげてまいりますので、宿毛内海道路(宿毛和田～宿毛新港)を令和6年度の新規事業箇所として着手していただきますようお願いいたします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

- ・費用対便益 : 便益が費用を上回っている。
- ・手続きの完了 : 計画段階評価手続き完了(平成31年2月28日)、都市計画決定手続き完了(令和3年12月10日)

新規事業採択時評価結果(令和6年度新規事業化箇所)

事業評価結果(防災機能)

事業の必要性		
<p>南海トラフ地震による深刻な被害が予測される地域において、国道 56 号の代替路として円滑な救援活動・物資搬送を支援するとともに、広域観光周遊ルートを活用した地域の観光振興や養殖マダイに代表される地域産業支援、高度救急医療などを行える第三次救急医療機関への搬送時間短縮などに寄与するものである。</p>		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> 宿毛市では、南海トラフ地震により広範囲で地盤沈下が発生し、中心市街地周辺で長期浸水被害が発生すると想定される。宿毛市役所へ向かう主要な幹線道路は国道 56 号に限定されており、道路啓開や救助・救出、長期浸水の解消に時間を要することが課題。 宿毛新港 IC 付近は高台移転した宿毛市役所や宿毛新港などの防災拠点が集中しており、緊急輸送道路の機能の確保が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ※四国圏広域地方計画(H28.3) ・圏域の安全・安心を支える基盤として必要不可欠なインフラである四国横断自動車道、高知東部自動車道及び阿南安芸自動車道等の整備の推進による四国8の字ネットワークの形成を目指す。 ※四国地域新広域道路交通計画(R3.6) ・規格の高い道路と一般国道等の一般道とのダブルネットワークを構築、規格の高い道路のミッシングリンクの解消を進めて多重性・代替性を確保する。
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> ・愛南町には高度救急医療などを行える救急医療機関がなく、重篤患者の救急搬送は隣接する宇和島市、宿毛市の高次救急医療機関に依存。 ・当該地域唯一の緊急輸送道路である国道 56 号を利用しているが、宿毛和田 IC～宿毛新港 IC の並行区間には、事故危険区間が 2 箇所、急カーブ箇所が 1 箇所あり、患者の負担が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ※四国圏広域地方計画(H28.3) ・自然災害発災後の救助・救急、医療活動等やサプライチェーンの寸断回避を図るため、四国8の字ネットワークの形成を目指す。 ・地域に即した「コンパクト+ネットワーク」の構築を図るため、都市の生活を支える都市機能(医療・福祉・子育て支援・教育文化・商業)のあるエリアへ誘導する。
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍前は、高知県、愛媛県全体の観光入込客数は増加傾向。一方、宿毛市が位置する幡多地域、及び愛南町は減少傾向。なお、四国西南地域は地域の観光資源を活かした周遊観光の促進に取り組んでおり、幡多地域・南予地域の広域周遊のための移動時間短縮が課題。 ・当該地域は全国上位の養殖マダイの生産地であり、特に宿毛市・愛南町は、産地加工や地域ブランド戦略による高付加価値化に力を入れている。販路拡大に向けて、生産地や工場から県外の大消費地や便数が多く最終便も遅い松山空港まで急カーブや縦断勾配など線形不良区間を通過するため、速達性などの輸送効率の改善が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ※四国圏広域地方計画(H28.3) ・広域観光周遊ルートの形成により複数の県を跨がって、テーマ性・ストーリー性を持った一連の魅力ある観光地をネットワーク化。 ・圏域内外の交流活性化、物流基盤機能強化等による活力と魅力の向上に必要な不可欠なインフラとして、四国8の字ネットワークの形成を目指す。 ※第4期高知県産業振興計画 ver.2(R3.3) ・宿毛湾産の水産物(養殖ブリ、直七マダイ 等)を活用した商品開発及び販路拡大
その他		

事業の有効性									
<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業の実施により、防災機能ランクの評価に変化はないものの、不通リンクの解消や累積脆弱度の改善によりネットワーク全体の防災機能が強化される。 ・また、本事業において、災害時にも機能する信頼性の高い高速ネットワークが形成されるとともに、速達性向上による観光振興や地域産業支援、高度救急医療などが行える第三次救急医療機関への搬送時間短縮に寄与するなど、有効性の高い事業と評価できる。 									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善 ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱 度の変化 量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	愛媛県庁	宿毛市	75 (2)	0.61 [C]	0.37 [C]	838.24 (7.56)	0.20 (0.05)	0.30 (0.00)	○ (○)

事業の効率性
<ul style="list-style-type: none"> ・計画段階評価手続き完了(平成 31 年 2 月 28 日)、都市計画決定手続き完了(令和 3 年 12 月 10 日)

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は、いよ小松JCT～高知JCTを対象とした場合、下段()書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果。